

A10 NPO法人 日本タッチ・コミュニケーション協会

代表者：宇治木 敏子

住 所：広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター6階

TEL：090-8240-1006

① 社会課題の解決のための事業の名称

乳幼児の虐待予防とストレスに強い次世代を育成するための「レジリエンスな子育て」事業

② 事業の総予算額(助成金申請額)

2,444,000円(2,260,000円)

③ 事業の目的

虐待防止・予防、さらにストレスに強いレジリエンスな次世代を育成するために以下の取り組みを行う。

・育児不安、育児疲労を要因とした乳幼児虐待予防のために、親のメンタルケアと子どもの心のケアの教授。

・ストレスに負けない、レジリエンス力(逆境力、心の柔軟性)の高い子どもを育てるために、心の基盤が形成される乳幼児期が重要であることを、心理学、医学、保育学など各分野の専門家の講演を通して、親の身に限らず広く理解を求め促す。

・親自身のレジリエンス力の向上が子どものレジリエンス力の育成につながることを提唱する。

④ 事業の内容

(1) 児童虐待、特に乳幼児虐待の予防に特化した子どもの命(心)を守る予防活動プログラムの普及を以下の様に開催する。

①『タッチ子育て支援プログラム』(前年通り)

育児不安の予防、改善をするために、育児疲労のケアとメンタルケアを推進する。

年間を通して定期的で開催する。(広島市中区、海田町、広島市安芸区矢野など)

(親のメンタルヘルスケア 子育てのための心理学 親子のふれあいタッチ・コミュニケーション)

②『プレミアム講演会』(前年通り)

心の折れにくいレジリエンスな次世代を育成するためには、心の基盤が形成される乳幼児期が重要であることを、心理学、医学、保育など各分野の専門家の講演を通して、社会に提唱する。毎月1回、全11回、著名な講師による講和、実践講座などを開催する。(広島市など)

③『タッチ・サロン』(前年通り)

楽しむ時間を提供することで育児ストレスから解放し、明日への活力へとつなげる。

毎月1回、全6回、陶芸や写真など専門の講師による講座を行う。(広島市など)

(2) 中高生の自己肯定感の低さ、若者の幸福感の低さ、若者の自殺等の社会課題の根本原因に、乳幼児期からの自己肯定感の低さがある。心の折れにくい次世代育成に向けて、親へのレジリエンス教育を行う。

④『ワーク・オフセミナー』

職場復帰前後の女性を対象に、職場復帰に伴う不安や課題を解決に導くセミナーを毎月1回、全12回、開催する。(広島市など)

⑤『レジリエンス講座』

個人の問題解決能力に制限を与える仕組みに気づき、それを取り外し、問題解決能力の向上を図る講座を開催し、レジリエンス教育を推進する。月1回、全5回を開催する。(広島市など)

⑥『グループカウンセリング』

妊娠、出産、育児という女性にとってストレスを感じやすい時期をサポートする。毎月1回、全12回、開催する。(広島市など)

- (3) セミナー受講者の託児料減免を行い、受益者の負担を軽減することでセミナーの動員を図る。
- (4) 広島県でこの様な社会課題解決事業を行っていることを告知、参加を促すための広報事業として、年5回の広報誌の発行、月2回のメルマガ発信を行う。
- (5) これらの事業を円滑に事務処理、統括するために年間を通してスタッフを雇用する。

⑤ 備考
